



# 大地の実り

水戸市立下大野小学校  
学校便り NO. 16  
平成27年11月18日

## 「学校へようこそ」 11/14

11月14日は下大野小学校の学校公開日「学校へようこそ」でした。学習発表会では、1～3年生は、日ごろ勉強している英語の歌や合奏を発表しました。ふりをつけて楽しそうに踊っていました。3年生がリードしてのあいさつも、堂々とできていました。4～6年生は、ESPの学習の発表をしました。ESPの学習とは、下大野エキスパート授業の略で、先生方が各自得意分野や興味をもっている分野でテーマを提示し、そこに興味関心をもって集まった子どもたちが自分の知識や技能を高めていくというものです。①PCマイスター、②台所の科学、③作ろうポップアップカード、④レッツ・クッキング、⑤下大野のキャラクターを作ろう、⑥素敵な絵手紙を作ろう、⑦水戸歴史人物百科（下大野に今も生きる備前堀）、⑧スポーツチャレンジ等の発表をしました。スポーツチャレンジでは、今、現在ダブルダッチが男女とも、今年度登録チームの中で茨城県で1番の回数を跳んでいるとのことでした。日ごろの学習の成果がそれぞれに発揮できていました。【学習発表会】

8:50～ 学習発表会  
10:00～ おもしろスポーツ教室  
防災教室  
12:00～ 昼食  
13:10～ ファミリーコンサート



### 【おもしろスポーツ体験】

おやじの会主催で、おもしろスポーツ体験が行われました。下大野小学校のすごいところは、お父さんたちが子どもたちを喜ばせようと、本気でがんばるところ。実際は、お父さんたちも子どもに返って楽しんでいるのかも……。あっちこちに笑顔がいっぱいでした。



### 【防災教室】

水戸市消防本部火災予防課、水戸市地域安全課、本校PTAの方々の協力を得て、防災教室が行われました。



### 【ファミリーコンサート】

リベルタ・ウインズのみなさんのご協力を得て、子どもたちがスイングしたくなるような楽しい吹奏楽の演奏が繰り広げられました。



# 英会話の授業を研究しています。

以前にもお伝えしたように、本校では今年度、「自分の思いや考えを生き生きと表現する児童の育成～英会話の授業をとおして～」というテーマで英会話の授業を研究しています。11月11日（水）の今回は、1・2年生が少人数のクラスを学年の違いの良さを生かした関わり合いを深めることでより大きな教育効果を狙ったCOMBO（異学年交流英会話）を研究しました。「Rainbow」というカラーの言い方が織り込まれた英語の歌を体いっぱい振り付けも含めて歌ったら、「もう1回やりたーい。」「アンコール！！」の声が出て、2度目を歌いました。色の言い方、図形の言い方をカラーバスケットや、体育館の中の図形探しのゲームを通して勉強しました。それはそれは楽しそうでした。

3年生は一般的なHOMEROOM（学級英会話）で、グループで助け合い、教え合いながら、1日の生活の様子を英語で伝える勉強をしました。3年生は右のようなことを、英語で言えるようになりました。使わなければ、忘れてしまうかもしれませんが……。下大野の子どもたちは、英会話の授業が大好きです。指導に来られる水戸市総合教育研究所の細谷先生からは、「下大野の子どもたちは、すごい。関わり合い、教え合うことができる。見ていると心が洗われそうです。」とお褒めの言葉をいただいています。この先、様々な機会を通して、グローバル社会にかかわっていくことになる子どもたちです。ローカルなふるさとへの思いを大事にしつつ、より広い世界とかかわる力も育てていければと思います。

What do you do on Sunday?

I get up at 6.00.

eat breakfast / go to school / study English / eat

lunch / play soccer / go home / have a snack /

read a book / go shopping / watch TV / eat

dinner / play the piano / take a bath / go to bed



1・2年生の授業

3年生の授業

## 「読書の秋」にちなみ読書感想文コンクール「優秀」作品紹介

たいせつにするよ

1年 檜山 唯華



shutterstock - 151622975

このほんをえらんだりゆうは、ただほんのだいめいがきにいったからです。くれよんにかおがついててかわいかったからです。

わたしはえをかくのがだいすきなので、いろいろないろでいろをぬったりします。クレヨンのきもちをかかると、もっとだいじにつかわないといけないとおもいました。いちばんへるのがはやいのは、きいろとピンクです。それはわたしがすきないろだからです。このほんではきいろはおひさまのいろだけど、わたしがきいろをつかうのは、つきをかいり、ほしをかくときにつかいます。おひさまのいろは、いつもあかでかきます。わたしはそこなちがうなあとおもいました。ピンクいろは、ハートをかくときとドレスをかくときにつかいます。だから、すごくへるのがはやいので、だいじにしないまま、ママにクレヨンをかかってとおねがいます。だけどそれは、クレヨンにとってはさみしいことなんだとわかりました。クレヨンのおねがいは、だいじにつかってほしだけなのに、わたしは、おれたクレヨンはもういらないと、つかわなくなります。

でも、もうあたらしいクレヨンをほしがったりしません。もっとクレヨンをだいじにつかいます。にじいろをかいり、つかわなかつたいろをつかたりしてクレヨンをよろこばせてあげたいです。それだけたいせつなことに、きづかせてくれたほんでした。いままでは、なんともおもわなかつたクレヨンでしたが、クレヨンからのおねがいはたくさんあり、わたしのかかってなおもいで、クレヨンをきずつけてはいけないから、これからはクレヨンをだいじにして、だいすきなえをかいていきたいとおもいます。きょうだいなかよくクレヨンをつかいます。クレヨンのほんをよんで、ほんとうによかつたとおもいました。（書名「クレヨンからのおねがい」）